

とびだせ！ 市民レポーター

～甲府市内の“まち歩き”～



市文化振興指導員の林陽一郎さんと、今回は下飯田のまちを訪ね歩きました。

下飯田には甲府城西高校・盲学校・甲府支援学校・甲府西高校などたくさんの学校が。まちを囲む賑やかな通りで、また、閑静な住宅街で、今回もいろんな発見がありました！

■市民レポーター 今村 晃子



①八幡神社から出発！江戸時代のものと思われる、ちょっぴり低めの鳥居が出迎えてくれました。この神社は下飯田の氏神さんで、千塚八幡神社を勧請したといわれているそうです。拝殿横には“お伊勢さん”の祠や秋葉・金毘羅・石尊大権現の碑などが。

②荒川の土手沿いにて。近くにあった石造物などを移し、地元の方たちがお祀りしているそう。

左から、水神、道祖神、白衣観音(白いお堂内)、馬頭観音です。



③武田家家臣・坂本氏が開基といわれる常照寺。古府中の塔岩(現在の北新辺り)の小堂から阿弥陀如来を移したとも。境内には六地藏や観音像、南無阿弥陀仏の碑などがずらり。



④“呂山園”という場所にある小宮山清三公徳碑。県議会議長などを務めた方で、園名は小宮山さんの雅号にちなんでいるそうです。この碑のほかにも、農地改革記念の碑や馬頭観音も。

小宮山清三(明治13年～昭和8年)
池田村村長、県議会議員・議長、大日本消防協会本部理事などを務める。
柳宗悦(美術評論家・宗教哲学者・民芸運動提唱者)が小宮山家を訪れた際、小宮山家所蔵の“木喰仏”※を発見。その後、木喰仏が研究されるようになった。
※江戸時代の遊行僧・木喰上人(旧下部町出身)による仏像。全国各地に残っている。その表情から“微笑仏”とも



貢川沿いの桜並木

下飯田のまちの南を流れる貢川。貢川橋から前田橋付近にかけての貢川沿いには約220本の桜が！

“お散歩ごころ”がくすぐられる、すてきな景色♪



貢川地区自治会連合会の方たちが植えたそうです。

上：貢川橋－新貢川橋間には吉野紅桜、八重彼岸桜、江戸彼岸桜、彼岸桜、小彼岸桜、染井吉野、枝垂桜が合わせて110本！

左：新貢川橋から前田橋付近の間には染井吉野が約110本！

◆ 飯田河原古戦場 ◆

大永元(1521)年、武田信虎の軍勢が駿河の今川氏の家臣・福島正成の軍と戦った“飯田河原の合戦”。

飯田河原とは荒川沿岸、下飯田を含む現在の池田・千塚地区や飯田、旧敷島町島上条一带だといわれています。

この時、福島勢15,000に対し、武田勢はわずか2,000ほどでしたが、劣勢をはね返して武田勢が大勝したそうです。

また、この侵攻によって大井夫人は要害城へ避難。この時、信玄を出産したといわれています。

※県立中央病院西側に飯田河原古戦場の石碑があります

★市民レポーターとは…市民の立場からわかりやすく甲府市のことを伝えていこうと、昭和58年から採用している制度で、現在は12代目のレポーター。市からのお知らせや話題を広報誌、市広報ラジオ番組(「甲府 Shiny Town」YBSラジオ、土曜日午前10時～)、市ホームページで紹介